

型番：RP-013C

ご相談窓口のご案内

弊社商品をご購入ありがとうございます。製品の使い方相談、修理相談については下記の窓口をご利用ください。

なお、修理をご依頼される際は、「取扱説明書」に記載の「こんなときは／故障かな？と思ったら」などを一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名(表紙右上表示)、②お買い上げ日、③お買い上げ販売店、④故障症状、⑤症状によっては製品と一緒に動作確認させていただく場合がありますので、製品を近くにご用意ください。具体的な症状をご確認の上ご連絡ください。

※出張での使い方の説明、修理はおこなっていませんので、ご了承ください。

ホームページで
製品サポート情報や、お問い合わせについてご覧いただけます。
<http://www.tohshoh.jp>

使い方／修理相談窓口

電話 048-997-2244

FAX 048-997-2082

受付時間 月～金 9:30～17:30 休業日 土・日・祝日

株式会社とうしょう カスタマーサービス
〒340-0802 埼玉県八潮市鶴ヶ曽根1442-1

保証書

品名	高級天然木調仕上げ蓄音機型プレーヤー	型番	RP-013C
お客様	お名前	ご住所	
	電話番号 ()		
お買い上げ日	年 月 日	取扱販売店名・住所・電話番号	
保証期間 (お買い上げ日より)	本体1年 (但し消耗品は除く)		

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。無料修理をご依頼される場合は、商品に本書を添えてお買い上げの販売店にお申し付けください。なお、出張修理はおこなっておりません。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理とさせていただきます。
 - ①使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - ②お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷。

- ③火災、爆発事故、落雷、地震、噴火、水害、津波等天変地異または戦争、暴動等破壊行為による故障及び損傷。
- ④異常電圧、電気の供給トラブル等に起因する故障及び損傷。
- ⑤用途以外で使用した場合の故障及び損傷。
- ⑥本書のご提示がない場合。
- ⑦本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
4. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

〈製品部品の保有期間〉 部品保有期間は製品製造終了から6年間です。

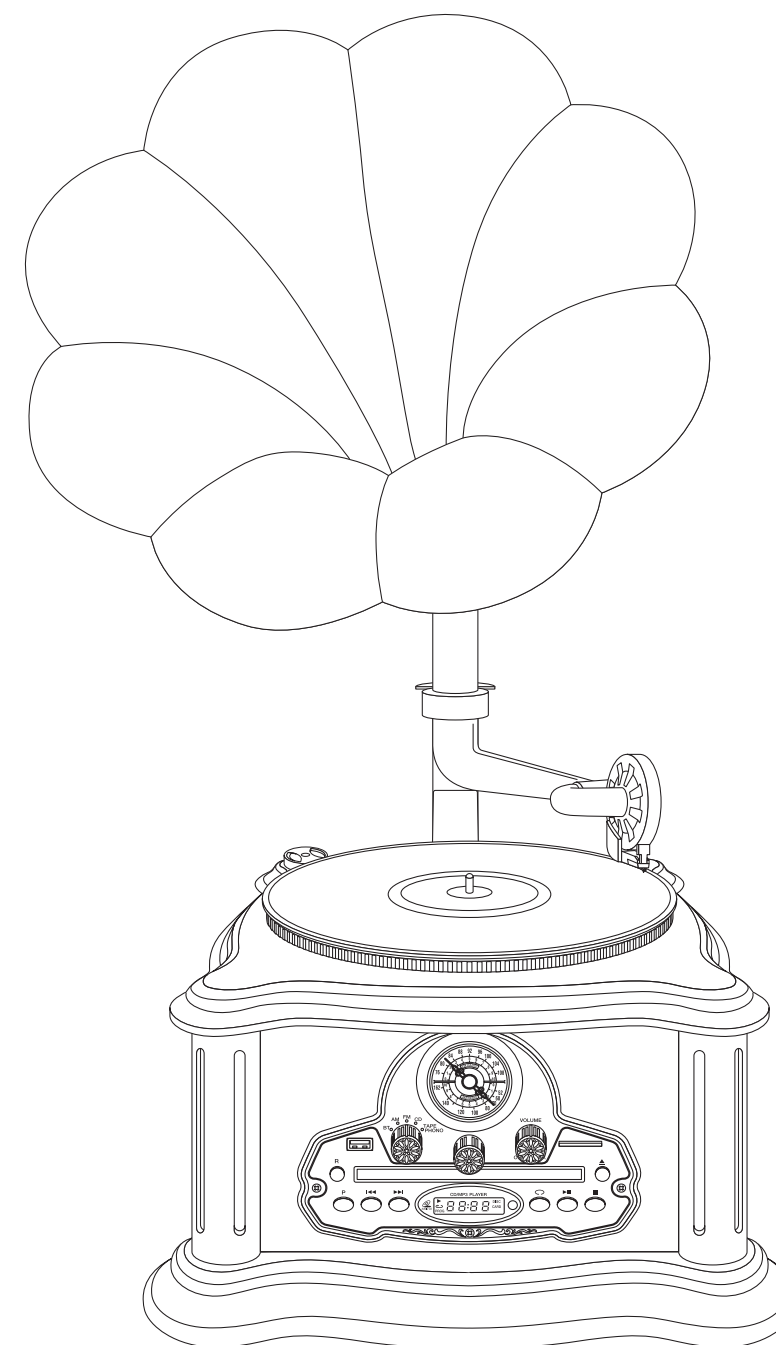
※一年間は無料修理をおこないます。但し、お買い上げより1カ月間過ぎでの修理依頼に関して、弊社への送料はお客様ご負担にてお願いいたします。なお、修理完了後の送料は弊社負担にて発送させていただきます。

高級天然木調仕上げ 蓄音機型プレーヤー

取扱説明書(保証書付)

ご使用前に必ずお読みください

このたびは、お買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。また、正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上のご注意」をごらんください。



目次

仕様	2
安全上の注意	3
各部の名称	4
ホーン(ラッパ)の組立	6
リモコンの電池セットと各部の機能	7
CDプレーヤーの使い方	8
SDカード・USBメモリーの聴き方	10
BLUETOOTH 機器の聴き方	10
レコードプレーヤーの使い方	11
ラジオの使い方	12
カセットプレーヤーの使い方	13
レコード針の交換	14
日常のお手入れ	14
こんなときは／故障かな?と思ったら	15
ご相談窓口のご案内	16
保証書	16

仕様

- CDプレーヤー
周波数特性：60Hz～16KHz(±3dB)
CD方式：Audio CD／CD-R／CD-RW
- レコードプレーヤー
モーター：DC方式
駆動方式：ベルトドライブ
回転数：33⅓／45／78rpm
信号雑音率：32dB
針：サファイア
- ラジオ
FM：76.0MHz～108MHz
AM：531KHz～1600KHz
周波数特性：100Hz～4KHz
- カセットプレーヤー
再生／早送り専用
ステレオヘッド
- SDカードプレーヤー 再生
USBメモリープレーヤー 再生
※SDカード(16GBまでを推奨)
- アンプ
消費電力：20W
周波数特性：60Hz～16KHz
- スピーカー
5W×5W 4Ω
ラッパ部 0.5W
- リモコン電池 CR2032 3V

こんなときは／故障かな?と思ったら

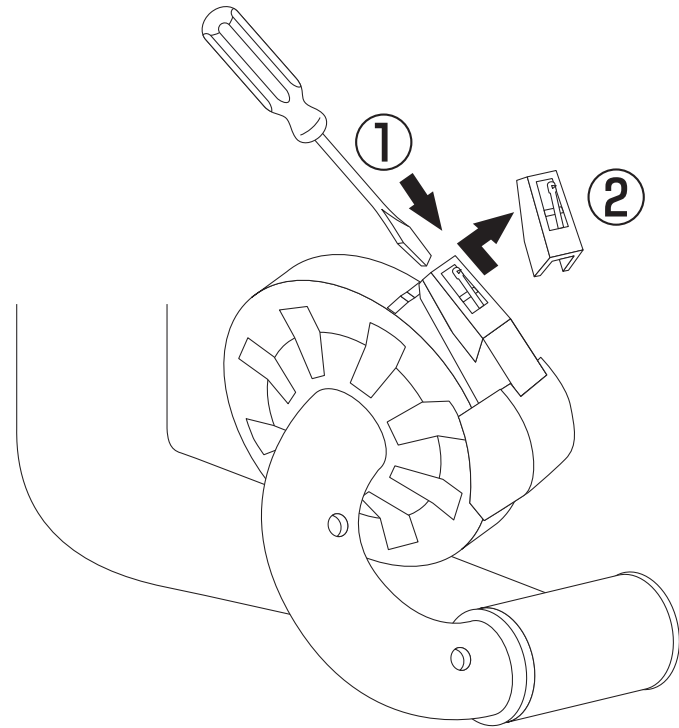
●故障かなと思ったら、まず以下の項目をご確認ください。

症 状		ここをお確かめください
スピーカー	音が出ない 音が途切れる	●音量は十分ですか? ●ラジオ使用時、ラジオ選局ツマミで周波数が合っていますか?
リモコン	リモコンが 使えない	●本体の電源はONになっていますか? ●リモコンと本体の間に障害物はありませんか? ●リモコンと本体との距離が離れすぎていませんか?(約2m以内) ●リモコンの電池は正しい向きに入っていますか? ●リモコンの電池が消耗していませんか?
CDプレーヤー	再生できない 音が出ない	●機能切換ツマミでCDを選択しましたか? ●CDのオモテ側を上向きに、正しく挿入されていますか? ●CDの再生面が汚れていませんか?やわらかい布などでふいてください。
レコード プレーヤー	ターンテーブル が回らない 音が出ない	●機能切換ツマミでPHONO(レコード)を選択しましたか? ●針の保護カバーを前方にスライドさせ、はずしてありますか? ご確認ください。
カセットテープ	テープが 入らない 回らない	●テープは正しく録音されたものですか? ●機能切換ツマミでTAPE(テープ)を選択しましたか? ●テープを挿入するとき、上下、左右、正しい向きになっていますか?
ラジオ	音が出ない	●機能切換ツマミでラジオ(AMまたはFM)を選択しましたか? ●ラジオ選局ツマミで聴きたい番組に周波数を合わせましたか?
	雑音が入る	●受信しやすい方向にアンテナを動かして、調整してください。(FM受信時) ●本機の設置場所、設置方向を変えてください。(AM受信時)
SDカード	再生できない 音が出ない	●機能切換ツマミでCD(SDカード再生の場合)を選択しましたか? ●挿入口の奥まで確実に差し込まれていますか? ●SDカードを使用時、カードスイッチがLOCK(ロック)されていませんか? ●正しく再生できる仕様で録音されたものですか?
USBメモリー	再生できない 音が出ない	●機能切換ツマミでCD(USBメモリー再生の場合)を選択しましたか? ●挿入口の奥まで確実に差し込まれていますか? ●正しく再生できる仕様で録音されたものですか?

レコード針の交換（別売品）

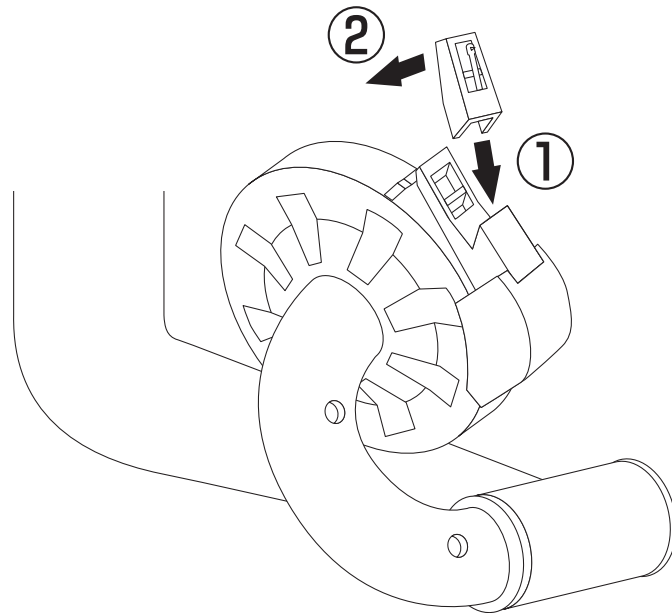
●針のはずし方

カートリッジと針の部分（赤い部分）の上の境目に小形ドライバーなどを差し込んで赤い針を浮かせ、前にスライドさせながら取りはずします。



●針の取付け方

針の部分（赤い部分）の後から差し込んでをスライドさせはめ込み、前面を押し込んでセットしてください。



注意

- レコード針は、精密に作られていますので、取り扱いには十分注意してください。
- 針先の耐久時間は、LP盤レコード100枚／100時間です。（交換目安）それ以上使い続けると、大切なレコード盤を傷つけるおそれがあります。ご注意ください。

日常のお手入れ

注意

●高温多湿の場所に設置しないでください

正常な機能を維持し、末永くお使いいただくために、お風呂場の近くやストーブ、直射日光の当たる場所など、高温や多湿の場所ではお使いにならないでください。変形したり、故障の原因となることがあります。

●汚れを取るときは

汚れをとる場合は、柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどい場合は、水に浸した布を固く絞ってから拭き取ってください。このとき、必ず電源プラグを抜いてから行ってください。研磨剤や強力な洗剤は、本体の仕上げを傷つけることがありますので、絶対に使用しないでください。また、ベンジン、アルコール、シンナーなどは使わないでください。変質したり、曇ったりすることがあります。

安全上の注意

絵表示について

この「安全上の注意」、「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになるかたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
絵表示の例		
		△記号は注意（注意・警告・危険を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。
		⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
		●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。）が描かれています。

警告

●ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



●表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



●万一、本器を落としたり、破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり（熱器具に近づけたり）引っぱったりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのままご使用になると火災・感電の原因となります。



注意

●本器の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



●直射日光の当たる所、温室やサンルームなどの温度や湿度の高いところに置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



●本器に水が入ったり、本器の内部がぬれたりしないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。



●本器の側面、裏側カバーをはずしたり、本器を改造したりしないでください。また、本器の内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止

●万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



●万一、異物が本器の内部に入った場合は、まず、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。（特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。）



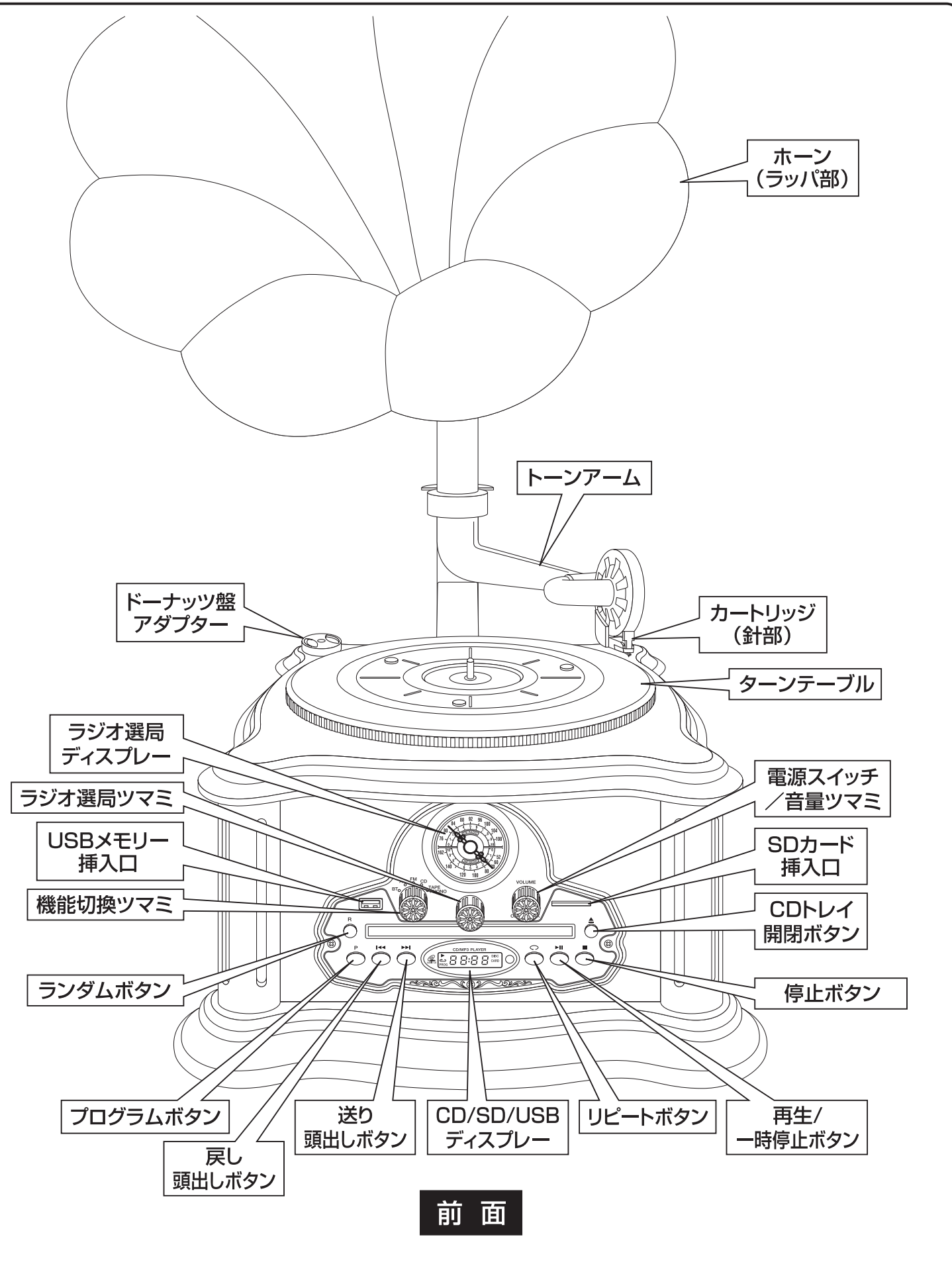
●湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所（調理台や加湿器のそば）に置かないでください。また、振動のある場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



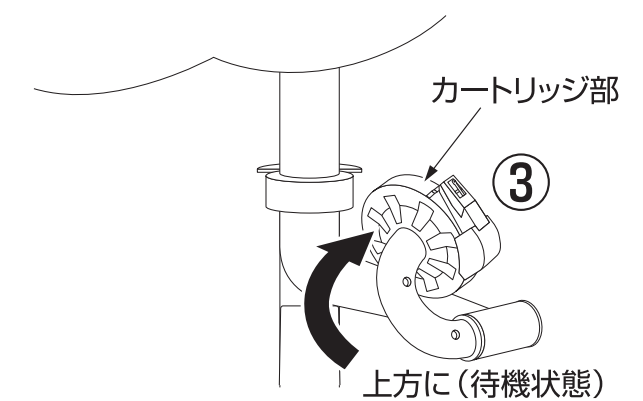
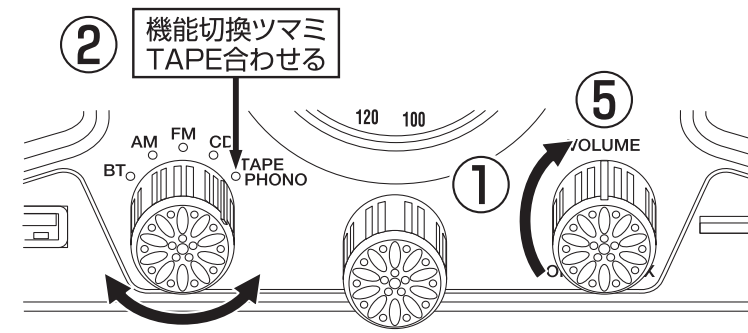
●電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



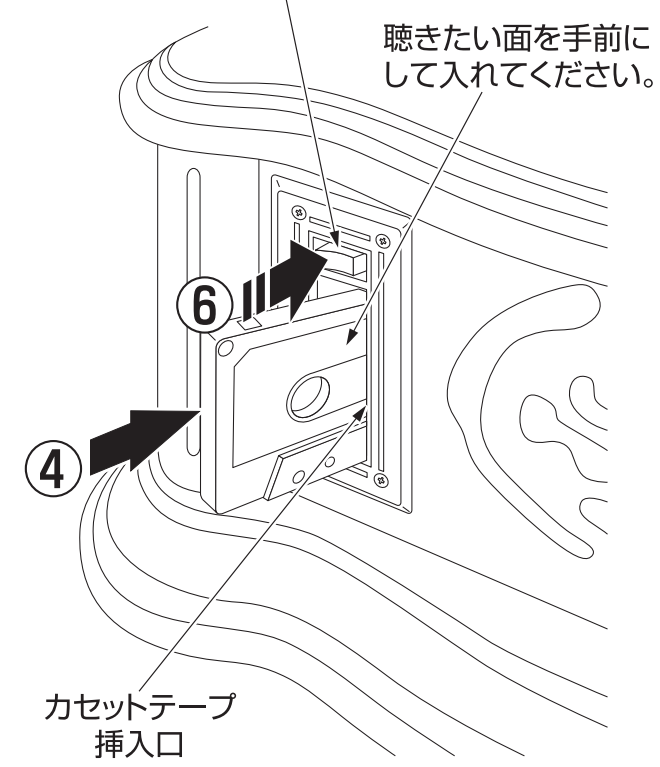
各部の名称



カセットプレーヤーの使い方



取出しボタン
 ● 取出し/少し強めに「ギュッ」と押します。
 ● 早送り/ゆっくり押します。

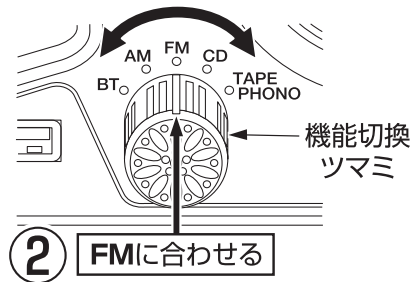
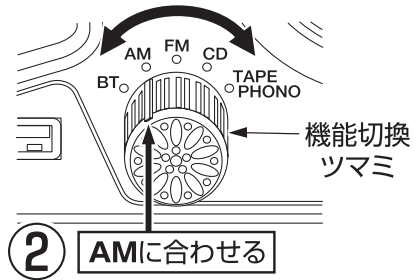
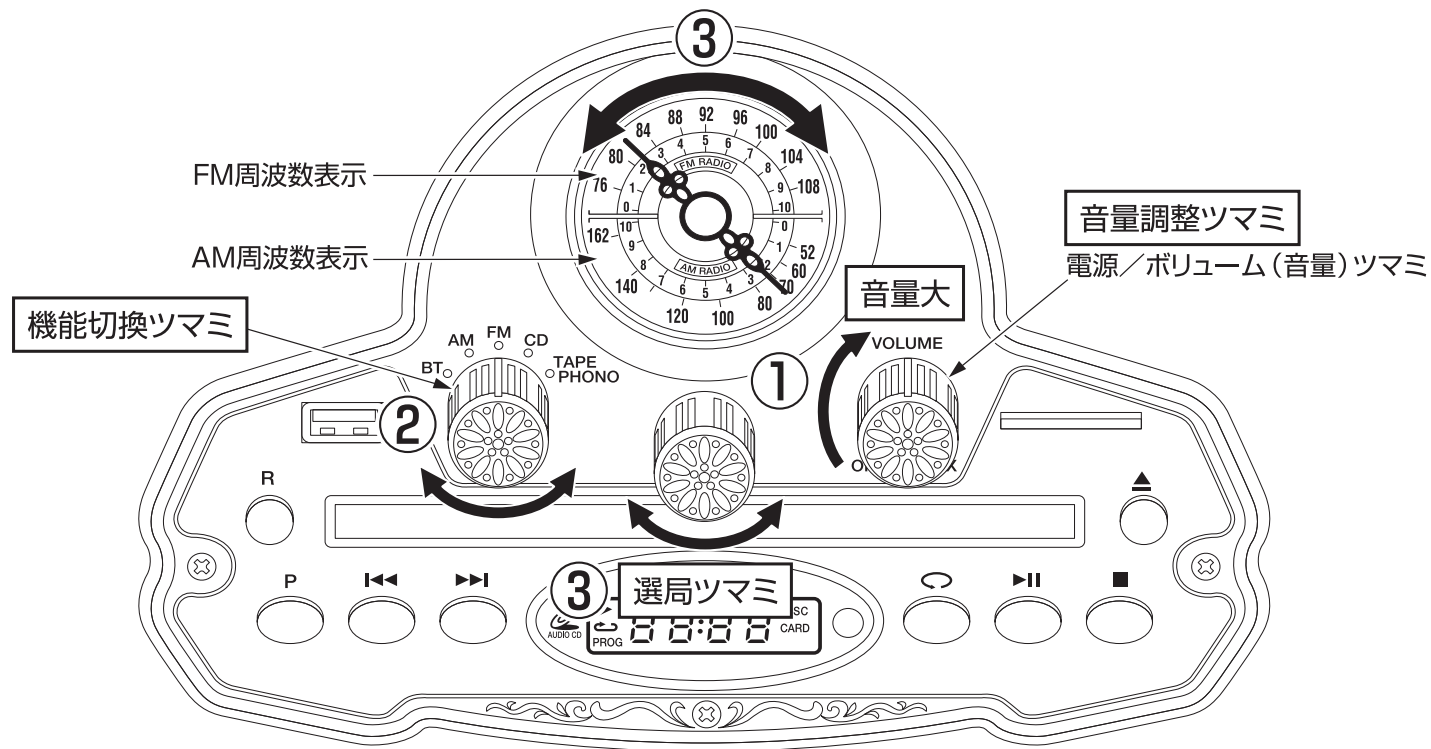


- ① 前面パネルの「電源/ボリュームツマミ」を右に回し「カチッ」と音がして電源スイッチが入ります。ディスプレイがブルーに点灯します。
- ② 「機能切換ツマミ」を回して「TAPE」を選択してください。
- ③ レコードの「カートリッジ部」が上方(待機状態)になっていることをご確認ください。
- ④ 「カセットテープ挿入口」へ、聴きたい面を手前にして図のように押し入れます。自動的に音楽を再生します。
- ⑤ 「ボリュームツマミ」を左右に回し、お好みの音量でお聴きください。(右に回すと大きくなります。)
- ⑥ 入口の上側にある「取出しボタン」を押すとテープが早送りされます。テープを取り出すときは、さらに強く押すとテープが取り出せます。

注意

- 機器に入れる前に、テープをチェックしてください。ゆるんでいるとトラブルの原因になりますので、片方の穴に鉛筆などを入れ、方向にしたがって軽く巻いて、ゆるみをなくしてから使用してください。
- 使用するテープは、C-30、C-45、C-60タイプをご使用ください。C-90、C-120タイプはテープが薄く、機器の安定性が悪いので、ご使用にならないでください。

ラジオの使い方



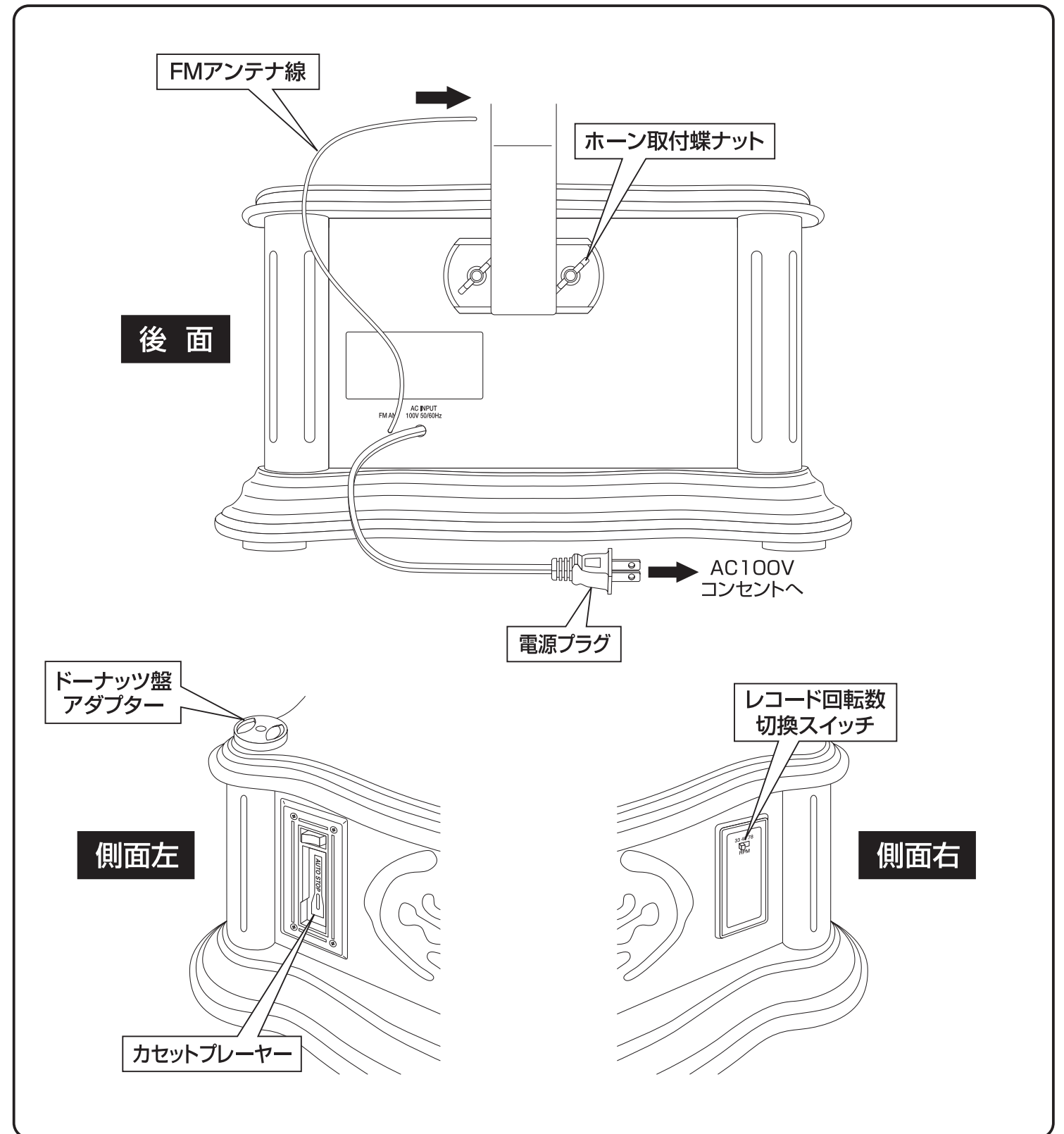
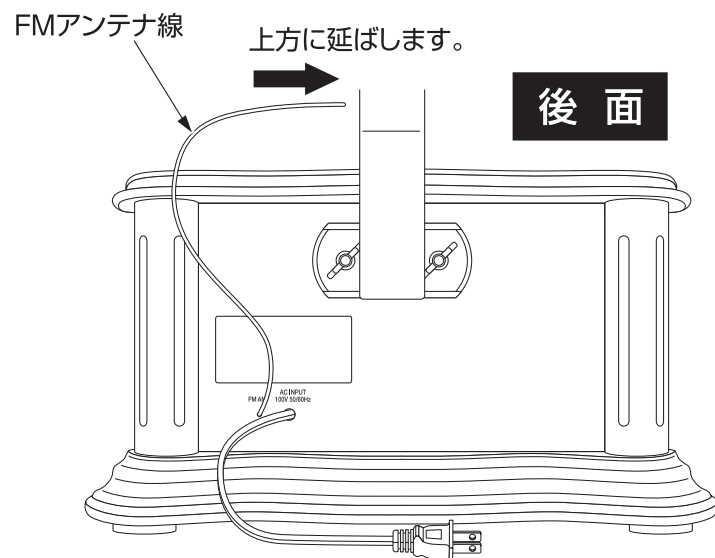
- ① 前面パネルの「電源/ボリュームツマミ」を右に回し「カチッ」と音がして電源スイッチが入ります。ディスプレイがブルーに点灯します。
- ② 「機能切換ツマミ」を回して聴きたい「AM放送」か「FM放送」を選択してください。
- ③ 「選局ツマミ」を回して、お聴きになりたいラジオ局(周波数)に合わせます。
- ④ 「電源/ボリュームツマミ」を左右に回し、お好みの音量でお聴きください。(右に回す【音量大】、左に回す【音量小】で調整)
- ⑤ 電源を切る場合、「電源/ボリュームツマミ」を左にいっぱいまで回し「カチッ」と音がすると電源が切れます。

●外部FMアンテナの引き直し

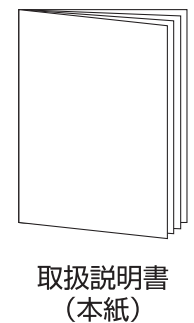
「FMアンテナ線」は、なるべく高いところに長く伸ばして取付けてください。電波の状態、本機の設置場所によって位置を調整してください。

●AM放送を聴く時の注意

AMの電波は高い建物の影や鉄筋コンクリートのマンション内など、電波を受信しにくい場所があります。本機の置き場所や向きを変え、電波を受信しやすい状態にしてお使いください。

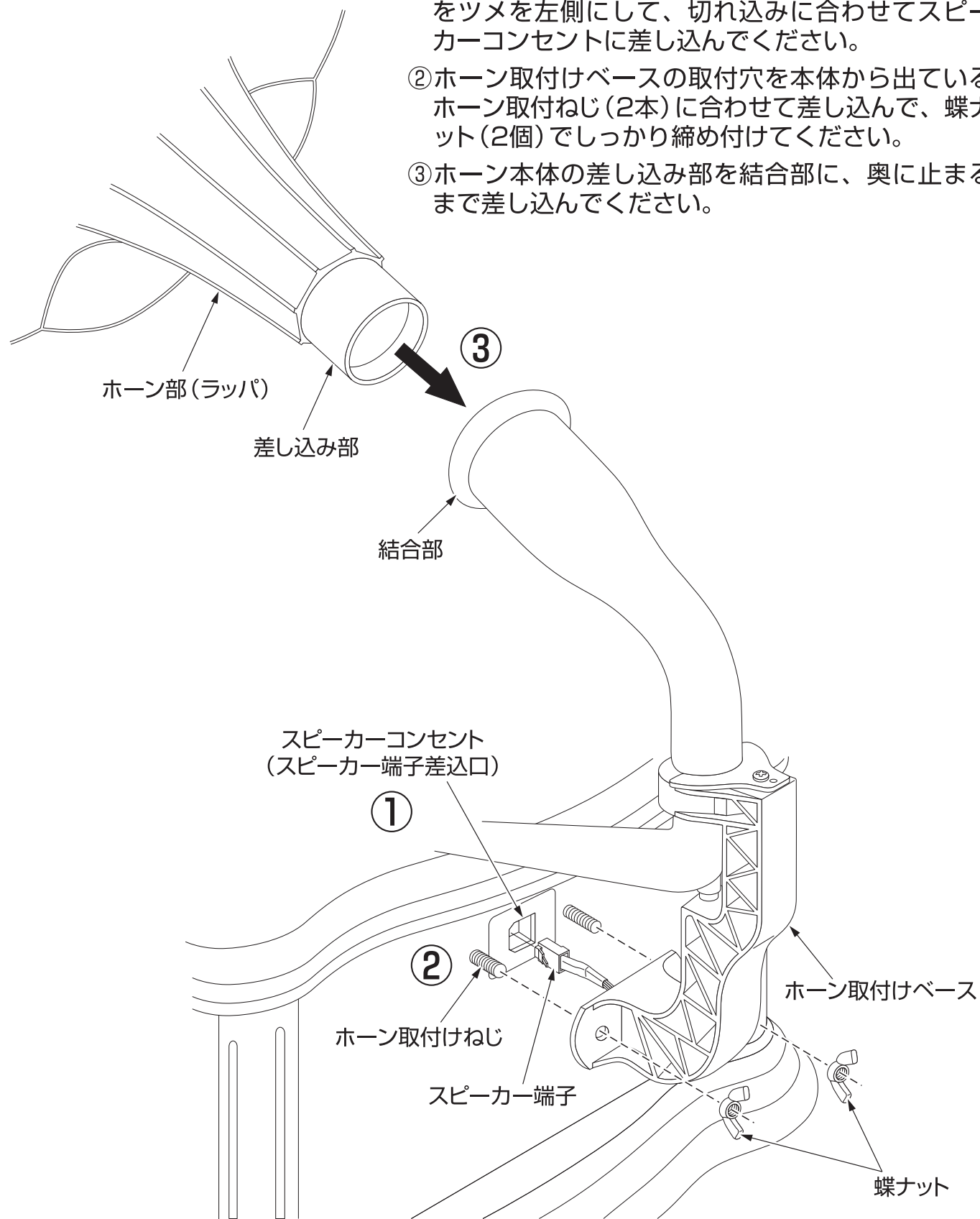


付属品

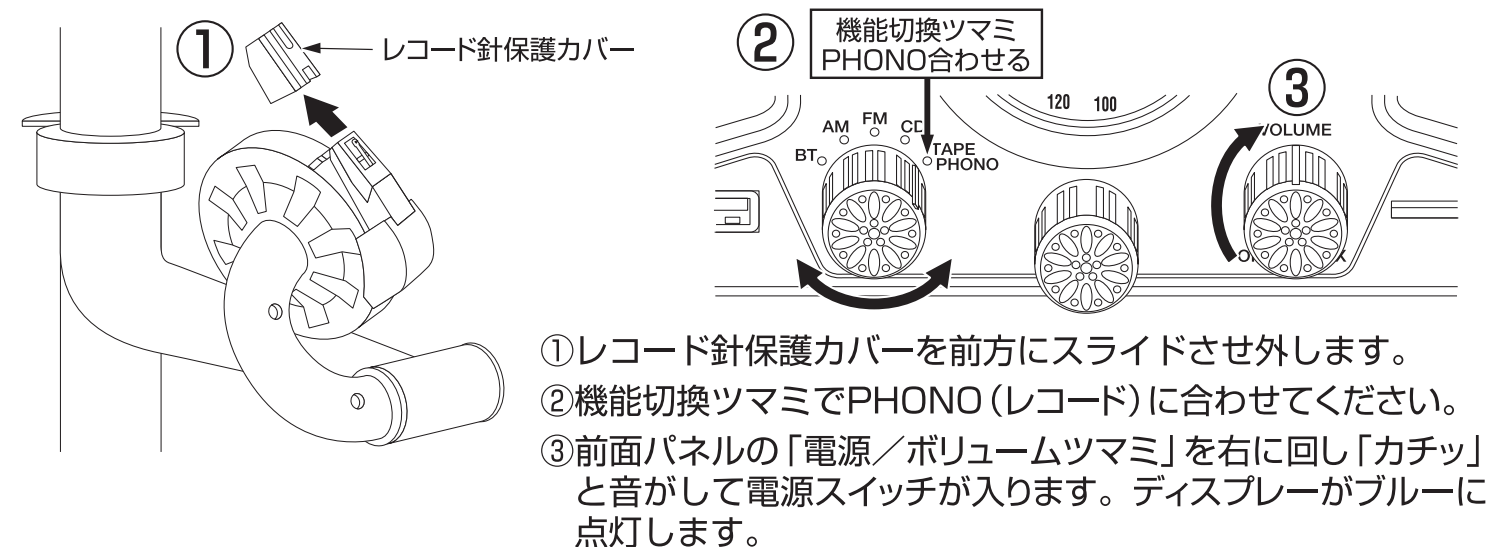


ホーン(ラッパ)の組立

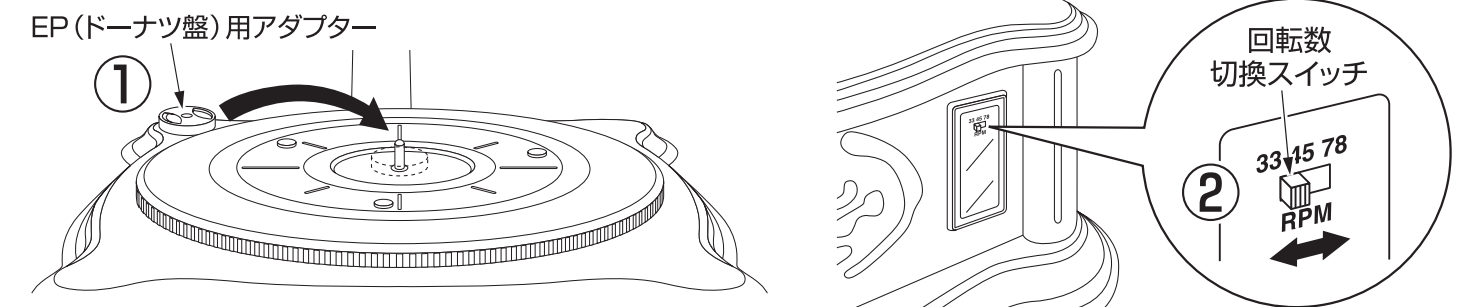
- ①ホーン取付けベースを本体裏側のスピーカーコンセントの近くに持って行きます。スピーカー端子をツメを左側にして、切れ込みに合わせてスピーカーコンセントに差し込んでください。
- ②ホーン取付けベースの取付穴を本体から出ているホーン取付ねじ(2本)に合わせて差し込んで、蝶ナット(2個)でしっかり締め付けてください。
- ③ホーン本体の差し込み部を結合部に、奥に止まるまで差し込んでください。



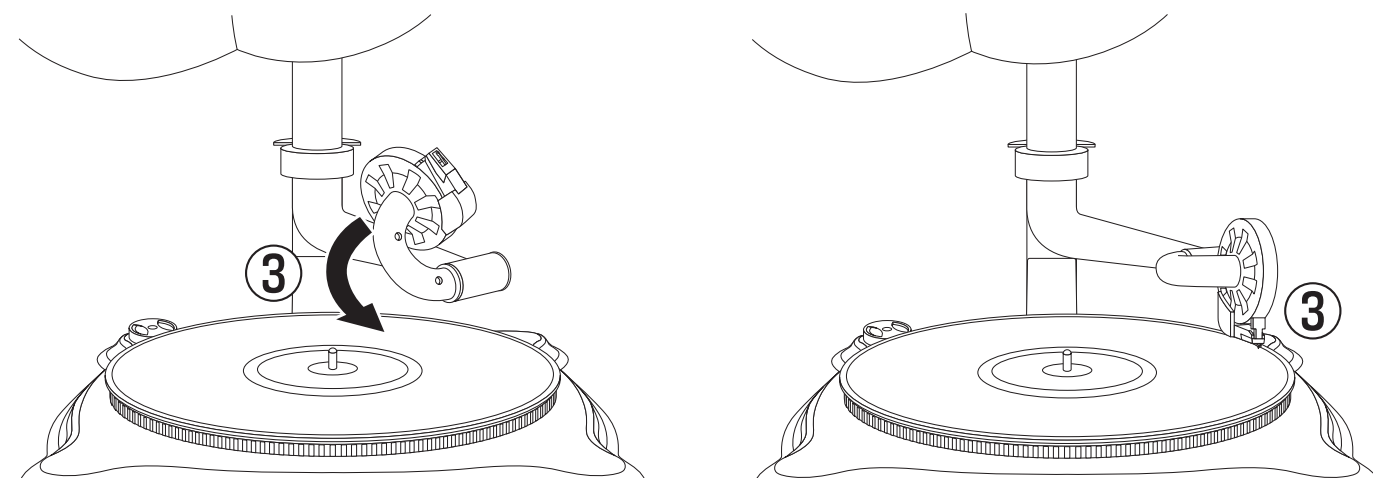
レコードプレーヤーの使い方



- ①レコード針保護カバーを前方にスライドさせ外します。
- ②機能切換つまみでPHONO (レコード) に合わせてください。
- ③前面パネルの「電源/ボリュームつまみ」を右に回し「カチッ」と音がして電源スイッチが入ります。ディスプレイがブルーに点灯します。

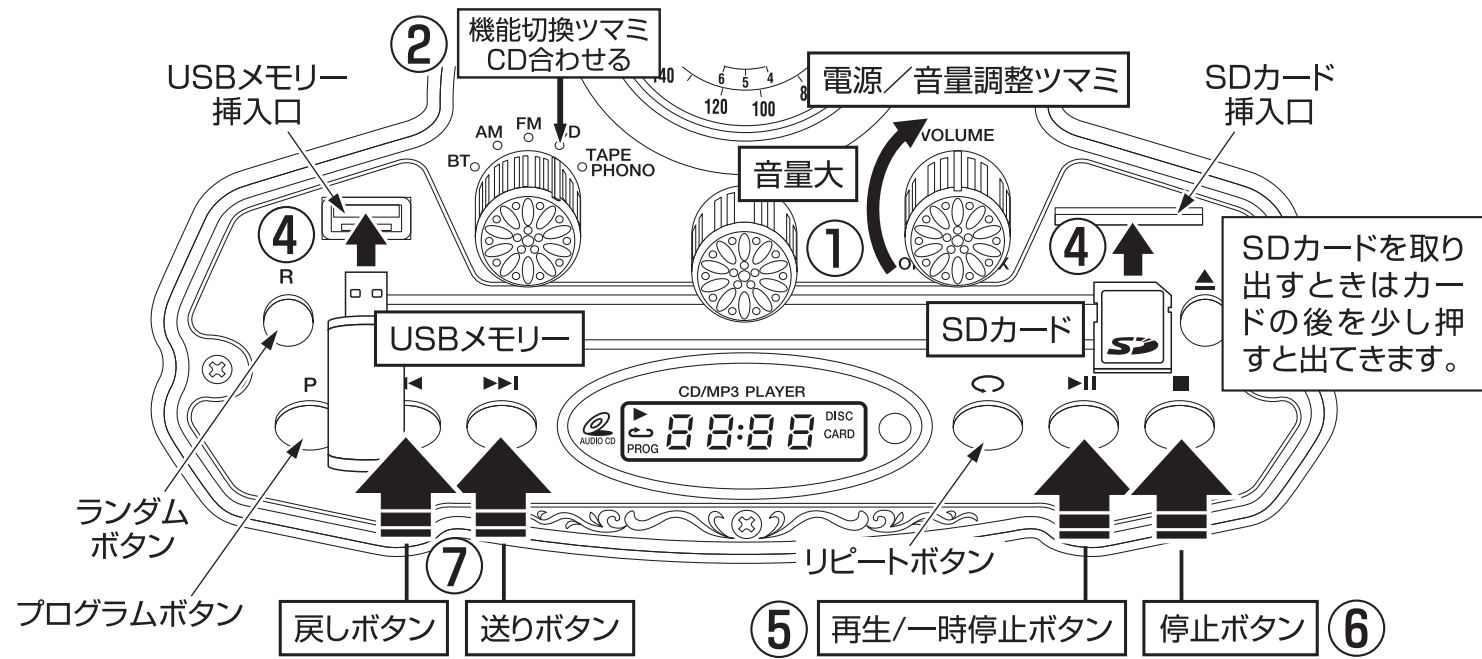


- ①レコードをターンテーブルにのせます。EPレコード(ドーナツ盤)を聞くときは、センター軸に「アダプター」をのせてレコードをセットしてください。
- ②レコードの種類に応じて、「回転数切換」スイッチをスライドさせ、スピードを合わせます。
- ③針のついたヘッドを半回転するように動かすとターンテーブルが回り始めます。レコードのフチ(音楽が始まる所)部に手で置くと、演奏が開始されます。
- ④「音量調整つまみ」を回して、調整してください。右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなりますので好みの音量でお聴きください。
- ⑤レコードの演奏途中でストップしたい場合や演奏が終了したら、レコード盤を傷つけないように静かに針を半回転させながら持ち上げます。

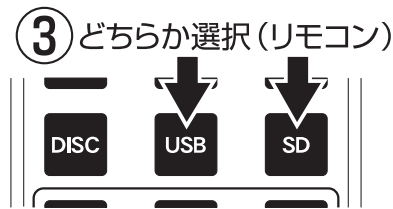


注意 全部手動式ですので、レコードの演奏が終了してもターンテーブルは停止しません。針を破損する原因になりますので、演奏終了後は速やかに針を半回転させながら持ち上げ、回転スイッチを切り、ターンテーブルを停止させてください。

SDカード・USBメモリーの聴き方



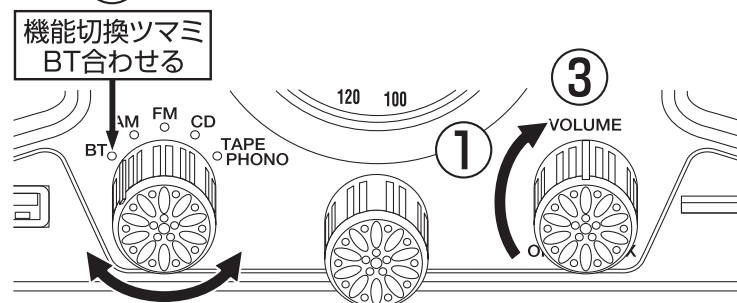
- ① 前面パネルの「電源／ボリュームつまみ」を右に回し「カチッ」と音がして電源スイッチが入ります。ディスプレイがブルーに点灯します。
- ② 「機能切換つまみ」を回して「CD」を選択してください。
- ③ リモコンで「SDボタン」か「USBボタン」で聴く方を選択してください。
- ④ SDカードまたはUSBメモリーを挿入口から表面を上にして入れてください。
- ⑤ 「再生ボタン」を押し、「電源／ボリュームつまみ」を左右に回し、お好みの音量でお聴きください。
- ⑥ 再生中に「再生／一時停止」ボタンを押すと一時的に停止します。もう一度押すと再生が再開されます。「停止」ボタンを押すと止まります。
- ⑦ 再生中または停止中に「送り」ボタンを押すと1曲先を再生されます。くり返し押し続けると、押し続けた数だけ先の曲を再生します。「戻し」ボタンを押すと1曲後を再生されます。くり返し押し続けると、押し続けた数だけ後に戻り曲を再生します。



ポイント 「リモコンによる操作」「リピート再生」「ランダム再生」「プログラム再生」はCDプレーヤーの使い方と同じなので前のページをご参照ください。

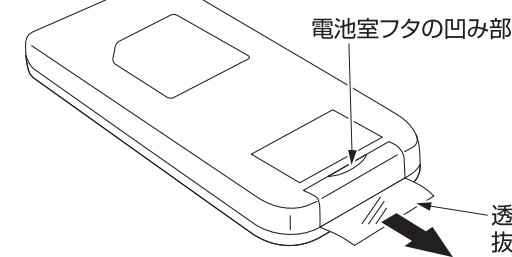
BLUETOOTH機器の聴き方

- ① 前面パネルの「電源／ボリュームつまみ」を右に回し「カチッ」と音がして電源スイッチが入ります。ディスプレイがブルーに点灯します。
- ② 「機能切換つまみ」を回して聴きたい「BT」を選択してください。
- ③ BLUETOOTH機器（スマホなど）の電源を入れ、機器の設定でペアリング画面から「Bluetooth」を選択すると本機とペアリングされます。音楽ソフトから再生して、本機のボリュームでお好みの音量でお楽しみください。



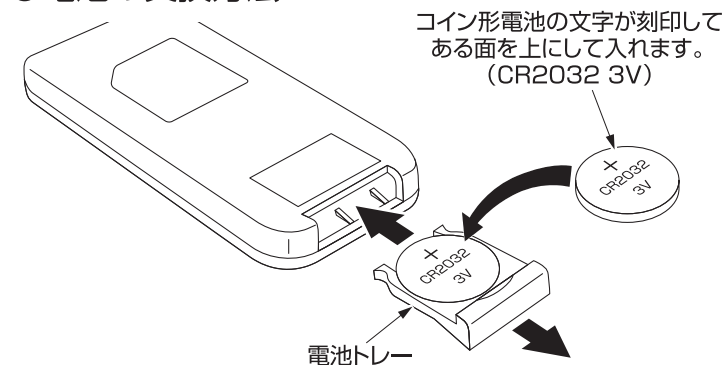
リモコンの電池セットと各部の機能

●電池のセット方法



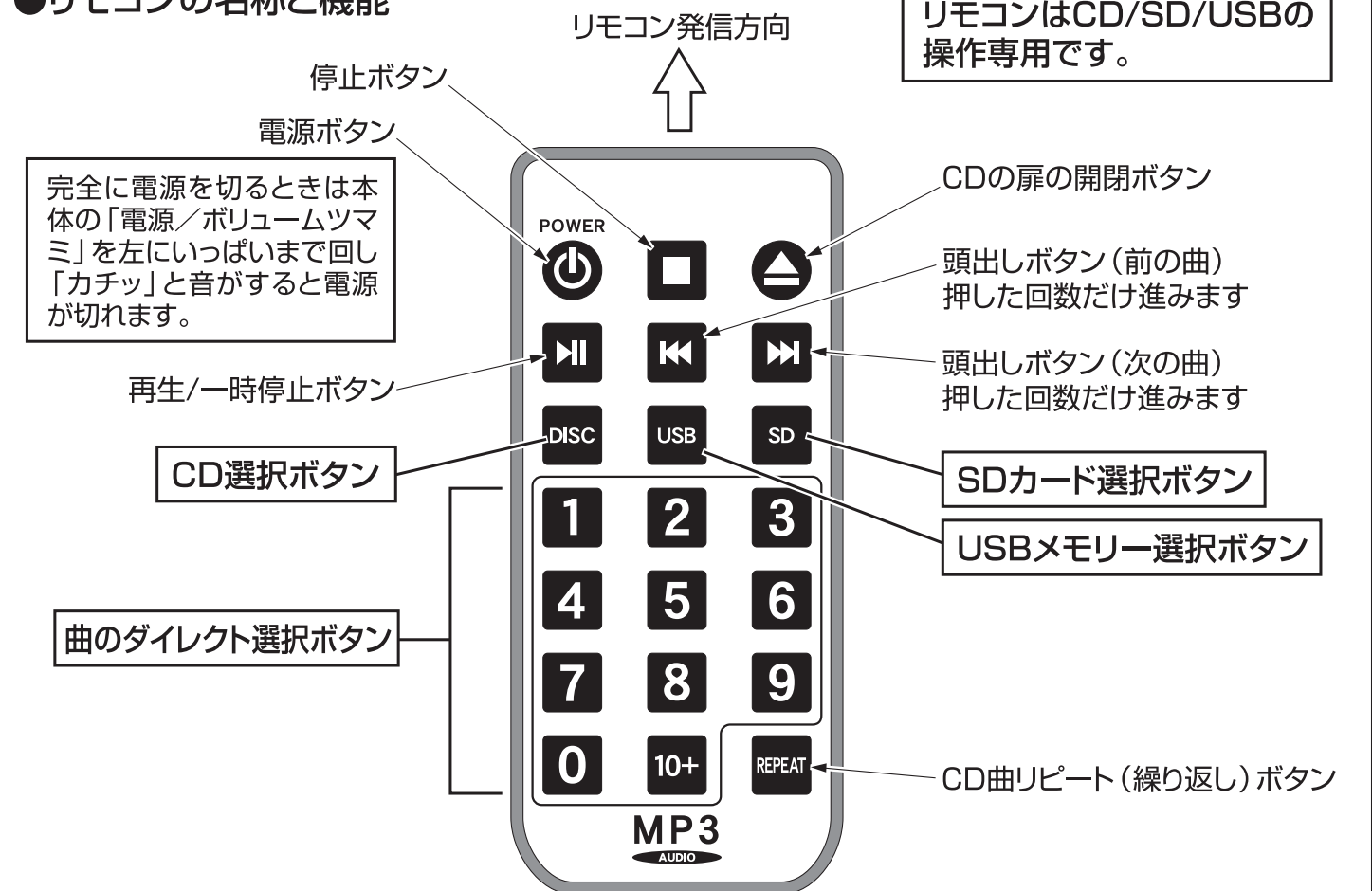
リモコンから出ている透明シールをゆっくりと引き抜いてください。途中で切れてしまったときは、下記の電池の交換を参考に正しく入れてください。

●電池の交換方法



- 電池室フタの凹み部にツメをかけてトレーを引き出し、電池の裏表を注意して交換してください。
- 始めから入っている電池は動作確認用ですので、新品の電池よりも寿命が短いことがあります。リモコン操作の距離が短くなったときは、新品の電池と交換してください。使用電池は、コイン形二酸化マンガンリチウム電池（CR2032 3V）です。
- 使用済みの電池は、お近くの家電ショップ、カメラ店などにお持ちになり、回収を依頼してください。決して火の中に入れてください。破裂や液漏れをおこし危険です。
- 長い間ご使用にならないときは、電池をリモコンから出して保管してください。

●リモコンの名称と機能

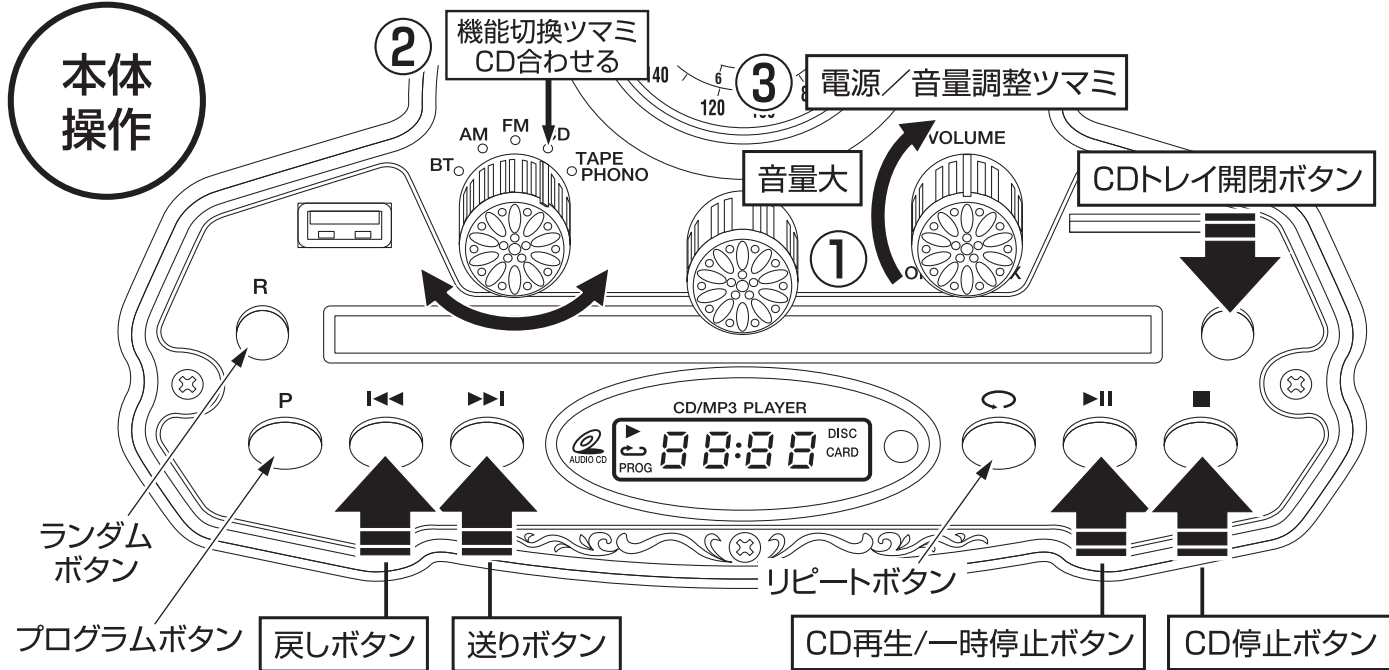


リモコンはCD/SD/USBの操作専用です。

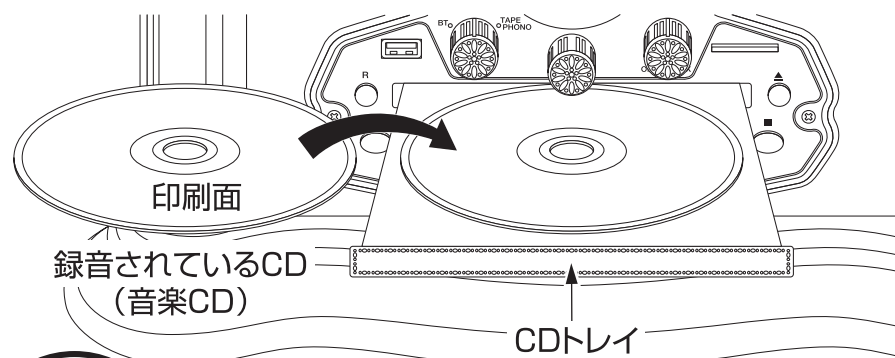
完全に電源を切るときは本体の「電源／ボリュームつまみ」を左にいっぱいまで回し「カチッ」と音がすると電源が切れます。

CDプレーヤーの使い方

本体操作



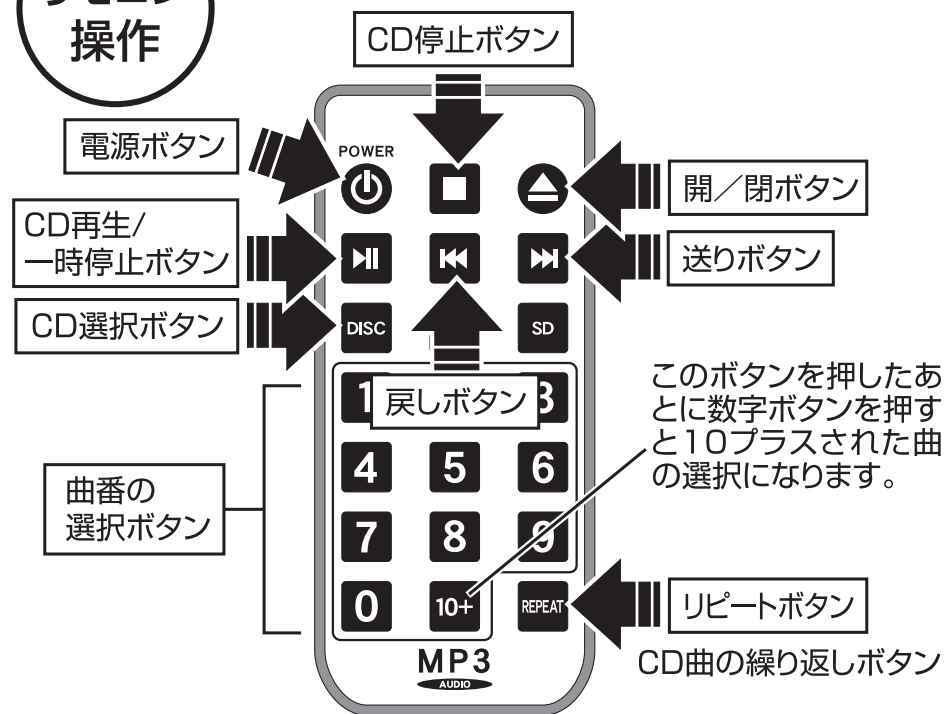
●CDのセット方法



●ディスプレイの表示



リモコン操作



- ①前面パネルの「電源/ボリュームつまみ」を右に回し「カチッ」と音がして電源スイッチが入ります。ディスプレイがブルーに点灯します。
- ②「機能切換つまみ」を回して「CD」を選択してください。
- ③「電源/ボリュームつまみ」を左右に回し、お好みの音量でお聴きください。(右に回す【音量大】、左に回す【音量小】で調整)
- ④電源を切る場合、「電源/ボリュームつまみ」を左にいっぱいまで回し「カチッ」と音がすると電源が切れます。

ノーマル再生

- ①「開/閉」ボタンを押し、出てきたトレイにCDを乗せ、「開/閉」ボタンでトレイを閉めると、自動で再生が始まります。
- ②再生中に「再生/一時停止」ボタンを押すと一時的に停止します。もう一度押すと再生が再開されます。「停止」ボタンを押すと止まります。
- ③再生中または停止中に「送り」ボタンを押すと1曲先を再生されます。くり返し押すと、押した数だけ先の曲を再生します。「戻し」ボタンを押すと1曲後を再生されます。くり返し押すと、押した数だけ後に戻り曲を再生します。

リピート再生

- ①再生中に「リピート」ボタンを押すと右図のようにディスプレイ表示が点滅します。この状態で「再生」ボタンを押すと今聴いている1曲が繰り返し再生されます。
- ②もう一度「リピート」ボタンを押すと表示が点灯に変わります。「再生」ボタンを押すとCD内の全曲が繰り返し再生されます。
- ③もう一度「リピート」ボタンを押すと表示が消え解除されます。



ランダム再生

- ①再生前に「ランダム」ボタンを押すCD内の曲の順番がバラバラになり、「再生」ボタンを押すと曲順がランダムに再生されます。
- ②「停止」ボタンを2回押すと解除されます。

プログラム再生

- ①お好みの曲順に20曲までプログラム再生できます。
- ②停止状態で「プログラム」ボタンを押すとディスプレイの「PROG」が点滅し、ディスプレイに「P01」が表示されます。
- ③「送りボタン/戻しボタン」を押し曲番を選択し、「プログラム」ボタンを押すと「P01」に1曲目が登録され、ディスプレイが「P02」になります。これをくり返し曲順を登録してください。
- ④「再生」ボタンを押すと登録した順に曲が再生されます。
- ⑤プログラム再生を終了するには、「停止」ボタンを2回押し、「PROG」表示を消してください。

